

アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想 概要版

1) 策定の趣旨

本市は大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」、「大分市都市計画マスタープラン」及び「おおいた中心市街地まちづくりランドデザイン」に沿った「中心市街地公有地利活用基本構想」を平成31年3月に策定し、中心市街地のさらなる魅力創造を図ることとしました。この「中心市街地公有地利活用基本構想」では、荷揚町小学校跡地の活用について、周辺施設と連携し、歴史・文化・学びの場の充実を図り、既成市街地と互いに機能を補い合い、共存共栄することで、都心の魅力を伸展させ、回遊性と滞留性をあわせもつ空間形成を図ることとしております。

これを受け、荷揚町小学校跡地に隣接するアートプラザについては、新たに整備される荷揚町小学校跡地複合公共施設や大分城址公園等と連携したより良い施設のあり方を検討していく必要があります。また、象徴的な建築物であるアートプラザを中心とした周辺の公共施設及び道路等を一体ととらえ、その景観の調和やバリアフリー化などの安全な歩行空間の確保などを図っていく必要があります。

本基本構想は、アートプラザとその周辺公共施設である荷揚町小学校跡地複合公共施設・大分城址公園・大分市役所及び周辺市道（アートプラザ周辺エリア）の現状と課題を把握し、アートプラザとその周辺エリア全体の整備方針を策定するものです。

2) 基本構想の範囲と位置付け

【基本構想の範囲】

アートプラザとその周辺公共施設である荷揚町小学校跡地複合公共施設・大分城址公園・大分市役所・周辺市道（以下、アートプラザ周辺エリア）を検討範囲とします。



【基本構想の位置付け】

本基本構想の範囲は、各種計画等において重要なエリアに指定されています。そのため、本基本構想は大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」をはじめとする本市の上位計画及び「おおいた中心市街地まちづくりランドデザイン」に基づくとともに、関連する各種計画等との整合を図ります。特に「中心市街地公有地利活用基本構想」及び「大分城址公園整備・活用基本計画」と連携するものとします。

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」

- めざすまちの姿（都市像）「笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市」
- 基本構想：新しい時代の総合的かつ計画的な行政運営の指針を定め、新たな目標と発展の方向性を明らかにする
- 基本計画：基本構想で定める基本的な政策とそれに基づく具体的な各種施策の関係を体系的に示すとともに、個別の施策項目の内容を明らかにする
- 基本構想期間：2016（平成28）年度～2024（令和6）年度

大分市都市計画マスタープラン

- 目的：市民の身近な意見をとり入れ、大分市の将来像を描き出し、その実現に向けた都市計画の基本的な方針を定めることを目的に策定
- 策定：2004（平成16）年3月
（2021（令和3）年3月改定予定）
- 目標年次：2040（令和22）年

各種計画

- ・大分市景観計画
- ・大分市街路樹景観整備計画
- ・大分市緑の基本計画
- ・大分市バリアフリー基本構想【大分駅周辺地区】
- ・大分市教育ビジョン2017第Ⅱ期基本計画
- ・大分市文化・芸術振興計画
- ・大分市観光戦略プラン
- ・大分市公共施設等総合管理計画
- ・その他の関係する計画

おおいた中心市街地まちづくりランドデザイン

中心市街地
公有地利活用
基本構想

連携

アートプラザのあり方
及び周辺エリア整備
基本構想

連携

大分城址公園
整備・活用
基本計画

アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想 概要版

3) アートプラザとその周辺エリアのあり方の方向性

アートプラザとその周辺エリアのあり方については、「中心市街地公有地利活用基本構想」において荷揚町小学校跡地の利活用方針のひとつとして定められた「隣接する大分城址公園やアートプラザと連携し、歴史・文化・学びの場の充実を図り、既成市街地と互いに機能を補い合い、共存共栄することで、都心の魅力を伸展させ、回遊性と滞留性をあわせもつ空間形成を図ります」を実現することが求められています。

現状

課題

あり方の方向性

整備方針

アートプラザ

- 市民の文化・芸術活動の発表及び鑑賞の場
- 年間施設利用者約17万人、市民ギャラリー等貸出スペース年間稼働率約85%
- 「磯崎新建築展示室」（3階）において建築模型や寄贈図書など磯崎新氏に関する資料を展示
- 2019（令和元）年、磯崎新氏、プリツカー賞受賞及び大分市名誉市民

- 稼働率の高い市民ギャラリー機能の維持
- 磯崎新氏の業績発信機能の強化
- 磯崎氏関係資料等*を収蔵・公開するスペースの不足
- 磯崎新氏関係資料等の活用方法の検討
- 施設の老朽化

*寄贈図書・建築模型・建築図面等

『新たな知の拠点の創出』

- 荷揚町小学校跡地複合公共施設との連携による市民ギャラリー機能の補完
- 磯崎新氏の業績発信の場としての拡充
- 磯崎氏関係資料等を収蔵・公開する場の確保
- デジタルアーカイブの構築・活用
- 若手芸術家・建築家等の創作・研究発表の場の充足
- 施設の適切な維持管理

- 荷揚町小学校跡地複合公共施設に市民ギャラリー機能を移設する等の利便性の高い機能的連携を図ります。
- 磯崎新氏関係資料等を公開・閲覧できる場の拡充を検討します。
- 建築や芸術などに興味・関心を持つ次世代の担い手を育てるとともに、幅広い世代の市民や研究者等が集い、学びの場の提供を検討します。
- デジタルアーカイブを構築・公開し、資料の活用を促進します。
- 若手芸術家・建築家等への創作・研究発表の場の提供を検討します。
- 施設の適切な維持管理を図ります。
- 施設の名称を検討します。

アートプラザ周辺エリア

- 【荷揚町小学校跡地】
 - 中心市街地公有地利活用基本構想に基づき、複合公共施設の整備を行う（令和6年4月供用開始予定）
- 【大分城址公園】
 - 大分城址公園整備・活用基本計画における短期整備が完了
- 【周辺市道】
 - 市道荷揚4号線・6号線は、国道197号から大分市役所及びアートプラザへ至る道路
 - 市道荷揚4号線は、片側1車線の車道と両側に歩道が設置され、庁舎を利用する自動車や歩行者、自転車の通行が多く見られる

- 既存の公共施設との連携
- 来庁者以外の来街者が少ない
- 大分市役所本庁舎北側の市民広場にある樹木による周辺への影響
- 市道荷揚4号線の歩道の段差や有効幅員の不足
- 大分市役所本庁舎地下駐車場を利用する車両の市道荷揚4号線での滞留
- 市道荷揚4号線の夜間照明の不足
- 電柱・電線によるアートプラザや大分城址公園の石垣や白壁の見通への影響
- 歩行空間の連続性や景観との調和不足

『回遊性と滞留性をあわせもつ魅力あふれる空間形成』

- アートプラザと連携し、市民が広く展示会等催しを開催できる場の確保
- 施設間の連携による、歴史・文化・学びの場の充足
- 大分の街の歴史を感じられる拠点の形成
- 緑豊かな快適でうるおいある公共空間の形成
- 誰もが利用しやすい通りの整備（バリアフリー化）
- 市民が愛着を持ち、歩きやすく親しみの持てる通りの形成

- 大分の歴史情報発信の場として整備を検討します。
- 来街者の誘導に繋がるサイン等の整備を検討します。
- エリア全体で緑の再編・整備を検討します。
- アートプラザの既存ギャラリー機能を荷揚町小学校跡地複合公共施設へ一部移設する等施設間の連携を図ります。
- 荷揚町小学校跡地複合公共施設の外観をアートプラザ・大分城址公園・大分市役所と調和がとれるように検討します。
- 各公共施設と調和し、統一感のある周辺市道の整備について検討します。
- 歩道の街路樹のあり方及び周辺公共施設の利用者の駐車場へのアプローチについては、複合公共施設整備などと一体的な検討を行います。
- 歩道の段差解消や、各公共施設の敷地等も活用した歩行空間の確保（バリアフリー化）を検討します。
- 無電柱化を検討します。
- 道路照明や照明施設について検討します。
- 市道荷揚4号線に愛称を付けることを検討します。